

「ハケ岳の白樺から見る森の世界～遺伝子・生態から北欧家具まで～」

長野県の県木・白樺を含むカバノキ属樹種は、北半球の冷温帯～寒帯に広く分布し、各地域の森林生態系で重要な役割を担っています。

我々人間との関わりも深い樹種です。

本講座では、カバノキ属樹種をテーマに、進化史、生態、利用や今後の温暖化への影響について学びます。

北欧木工にも挑戦し、旅スプーンを専門家の指導の下、体験できます。

講師・内容

- ・カバノキ属樹種とは?:大陸スケールでみる過去～将来の進化史

津田吉晃(筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所・ハケ岳演習林・准教授)

- ・森林生態学からみた白樺:ハケ岳から東アジアまで

清野達之(筑波大学山岳科学センターハケ岳演習林・林長・准教授)

- ・白樺と北欧家具:フィンランド～飛騨での家具づくり
&木工体験(旅スプーン)

鈴木岳人(山岳木工KOIVU代表・家具設計・製作師)



日時: 2022年7月2日(土): 10時～17時

場所: 筑波大学山岳科学センターハケ岳演習林
・事務所(長野県南佐久郡南牧村野辺山 462-4)

対象: 高校生以上 定員: 20名 講習料: 3000円(別途材料費2000円程度)

お申込み

6月1日(水)～17日(金)に、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、メールまたはFAXで下記へ。

お申込み先・問い合わせ先:

筑波大学山岳科学センターハケ岳演習林

☒: yatsuen@msc.tsukuba.ac.jp

TEL: 0267-98-2412

FAX: 0267-98-2397

